



発行：高野口小学校学校運営協議会（高野口小学校内）42-2061

近畿地方もようやく梅雨が明け本格的な暑さがやってきました。学校では熱中症に注意して毎日の学校生活を送り、無事に夏休み（7月22日～8月25日）を迎えることができました。7月は、サマーフェスティバルをはじめ子供たち主体の行事もたくさんあり、子供たちは暑い中でしたが楽しく学校生活を過ごすことができたことだと思います。また、児童会とPTAの活動として取り組んでいるペットボトルキャップ回収も昨年の11月から今日まで約215kg集まりました。保護者・地域の皆様方のおかげです。ありがとうございました。



重さ 215kg
 個数 約9万2千個
 二酸化炭素削減量 約645kg
 （1kgで約3kgのCO₂削減）
 ワクチン107人分（2kgで1人分）

学校運営協議会からの報告

7月19日、イベント部活動の一環として、高小サマーフェスティバルに参加し、楽しいひとときを過ごしました。

私たちは、「輪投げ」と「射的」の2ブースを担当しました。PTAの協力の下、遊具は高野口町商工会とボーイスカウトからお借りしました。両ブースには多くの子どもたちが訪れ、大いに盛り上がりました。「おもしろかった」「もう1回やりたい」の声が多く、大変うれしく思いました。

合間を縫って、高学年の子どもたちが運営する各ブースを見学しました。どのブースにも子どもたちのアイデアがいっぱい詰まっています、手作りの行事の良さを感じました。所々に設けられた「控え室」から、学校側の細やかな暑さ対策をうかがい知ることができました。

これに先立ち7月8日、「高野口音頭」の練習時間を設けていただきました。短い時間でしたが、全児童の前向きな姿勢に感激しました。「大人だけでなく、町内の子どもたちからふるさとを盛り上げてほしい」との高野口地区公民館長（運営協議会委員）の強い願いも込められた練習でしたが、その意図を充分に感じてもらえたことと思います。館長はじめ、公民館サークルからの1名、クラブ活動（ダンス部）指導者2名に教えていただきました。

7月19日、お子さんの盆踊り参加にご配慮いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

